CITIZEN®

# 取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

シチズンのホームページ（http://citizen.jp/）でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

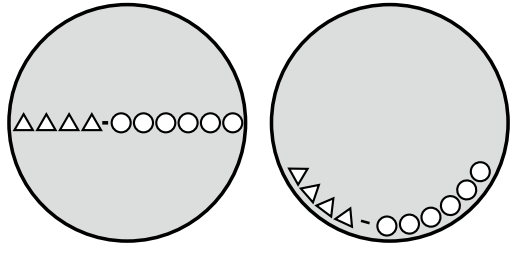
## 機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。（右図）

この番号を「側番号」と言います。

側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。
右の例では「△△△△」が機種番号です。

**刻印の位置の例**




時計によって表示位置は異なります。

# 安全にお使いいただくために―必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、***76***～***87***ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。 |
| ⚠警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

| | |
|---|---|
| | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| | このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。 |

# この時計の特長

**エコ・ドライブGPS衛星電波時計**
GPS衛星から位置・時刻情報を取得し、時刻・カレンダー合わせを自動で行います。

**ライトレベル インディケーター**
現在の発電量を表示します。
快適な充電環境選びの目安になります。

**Perfex(パーフェックス)**
衝撃や磁気による時針・分針・秒針のずれを防ぎ、正確な時刻表示を保ちます。

- **エコ・ドライブ(Eco-Drive)**
  光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。
- **ワールドタイム**
  世界の40の時差を選んで時刻を表示することができます。
- **平均月差±5秒**
  電波受信をしなくても、高精度の運針を保ちます。
- **パーペチュアルカレンダー**
  2100年2月28日まで月末やうるう年のカレンダー修正は不要です。

* 「エコ・ドライブ」「Perfex(パーフェックス)」は、シチズン独自の技術です。

# もくじ


**ご使用になる前に ..... 7**

バンド調整について ..... 8

保護シールについて ..... 8

特殊な構造のりゅうずや
ボタンの使いかた ..... 9

**各部の名称 ..... 11**

**充電について ..... 12**

現在の充電量と発電量を
確認する ..... 18

**ワールドタイムを
設定する ..... 24**

衛星電波から 位置情報を取得
する ..... 31

手動で時差を設定する ..... 33

**時刻情報を受信する ..... 34**

前回の衛星電波の
受信結果を確認する ..... 42

**サマータイムと標準時刻を
切り替える ..... 44**

**衛星電波の
受信について ..... 46**

うるう秒の設定を確認・修正する.....52
ロールオーバー数の設定を確認・修正する.....55
時刻・カレンダーを手動で合わせる.....58
基準位置を確認・修正する.....62
困ったときは.....66
その他の情報.....74
エコ・ドライブ取り扱い上の注意.....76
防水性能について.....78
お取り扱いにあたって...80
保証とアフターサービスについて.....88
製品仕様.....90
お問い合わせ窓口.....92

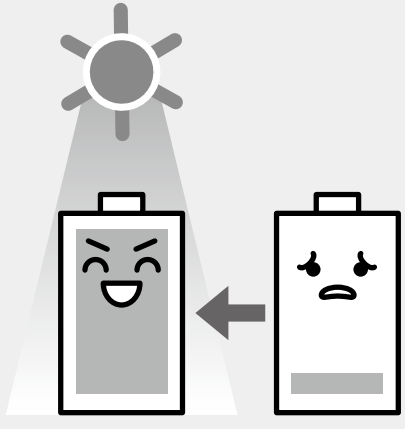
# ご使用になる前に

開封後、時計をご使用になる前に、必ず次のことを行ってください。

**1 現在の充電量を確認する(*12*ページ)**

**2 ワールドタイムを設定する(*24*ページ)**

**3 衛星電波を受信する(*46*ページ)**



この時計は、文字板に光を当てて充電します。

時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。

充電については、*12*ページ以降をご覧ください。

- とくに、衛星電波の受信には多くの電力を消費します。ご注意ください。

## バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

## 保護シールについて

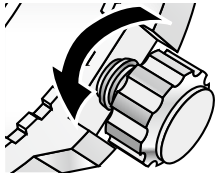
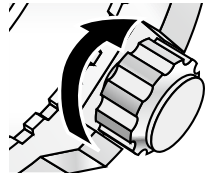
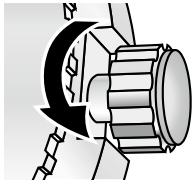
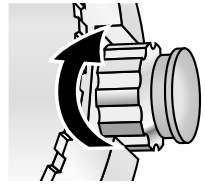
時計のガラスや金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

# 特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

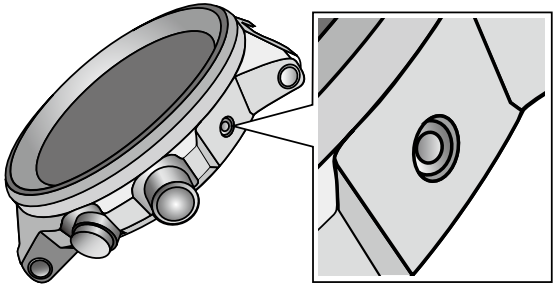
## ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

| | ロックを解除する | 再びロックする |
|---|---|---|
| ねじロックりゅうず |  りゅうずが飛び出すまで、左に回す |  りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める |
| ねじロックボタン |  ねじを左に回し、止まるまでゆるめる |  ねじを右に回し、しっかり締める |

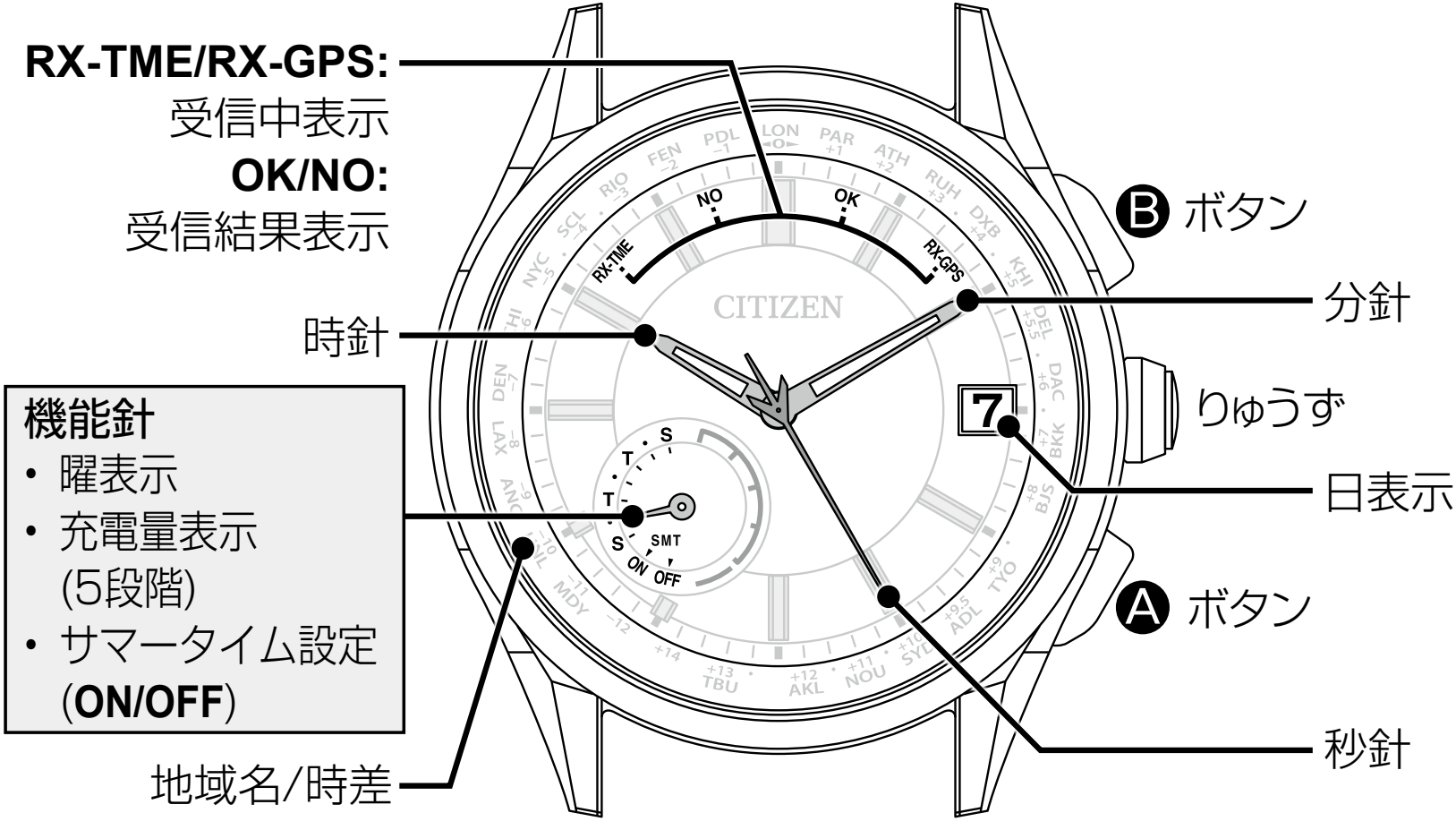
## 隠しボタン

ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。



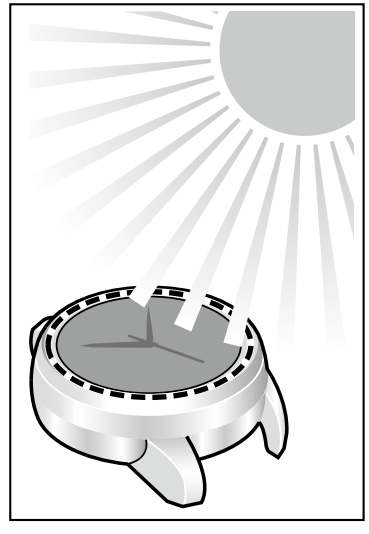
- 金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

# 各部の名称




- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

# 充電について



この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。

充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

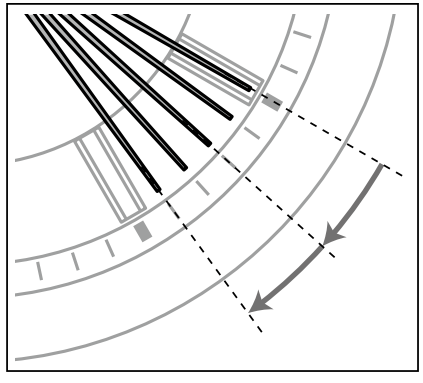
- 時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- 半月に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5～6時間直射日光に当てる
- 机の中など光の当たらない場所で長期保管をしない

**注意**

- この時計は、衛星電波の受信に多くの電力を消費するため、大容量の二次電池を内蔵しています。そのため、十分に充電されるまで時間がかかります。
- 周囲の温度が約0℃以下または約40℃以上では、「**充電禁止温度検出機能**」が働き、充電できません。
- 故障の原因となりますので高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。
- 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

- 充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。

## 充電不足になると(充電警告機能)



充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- 充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が5日以上続くと、充電不足で時計が停止します。

注意

- 時計が停止してから30日間以上充電しないでいると、安全のためそれ以降の充電ができなくなります(過放電検出機能)。
  停止した時計を直射日光で一日以上充電しても、針が動かないときは、弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

## 充電警告中(2秒運針中)は

時刻や日は正しく表示されます。

また、次の操作をすることもできます。

- 発電量を確認する
- ワールドタイムを設定する
- 時刻·カレンダーを手動で合わせる

位置情報の取得、衛星電波の受信など、上記以外の操作はできません。

## 環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

| 環境 | 明るさ（lx、ルクス） | 充電時間（約） | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 通常に動く状態を1日保つ | 時計が停止してから通常に動き出すまで | 時計が停止してから充電完了まで |
| 屋外（晴天） | 100,000 | 3分 | 4.5時間 | 30時間 |
| 屋外（曇天） | 10,000 | 25分 | 45時間 | 300時間 |
| 30W蛍光灯の20cm下 | 3,000 | 1.5時間 | 160時間 | 1040時間 |
| 屋内照明 | 500 | 7.5時間 | − | − |

- **直射日光での充電をおすすめします。**蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが足りません。

## パワーセーブ機能

時計の発電がなくなって3日間経過すると、節電のため、時針、分針、秒針が自動で停止する機能です。

- この間、時計内部では、時刻·カレンダーは正しく動作しています。
- りゅうずの位置が **1** や **2** のときは、パワーセーブ機能は働きません。
- 時計を操作をするか、文字板に光が当たって発電が始まると、パワーセーブは解除され、現在時刻の表示に戻ります。

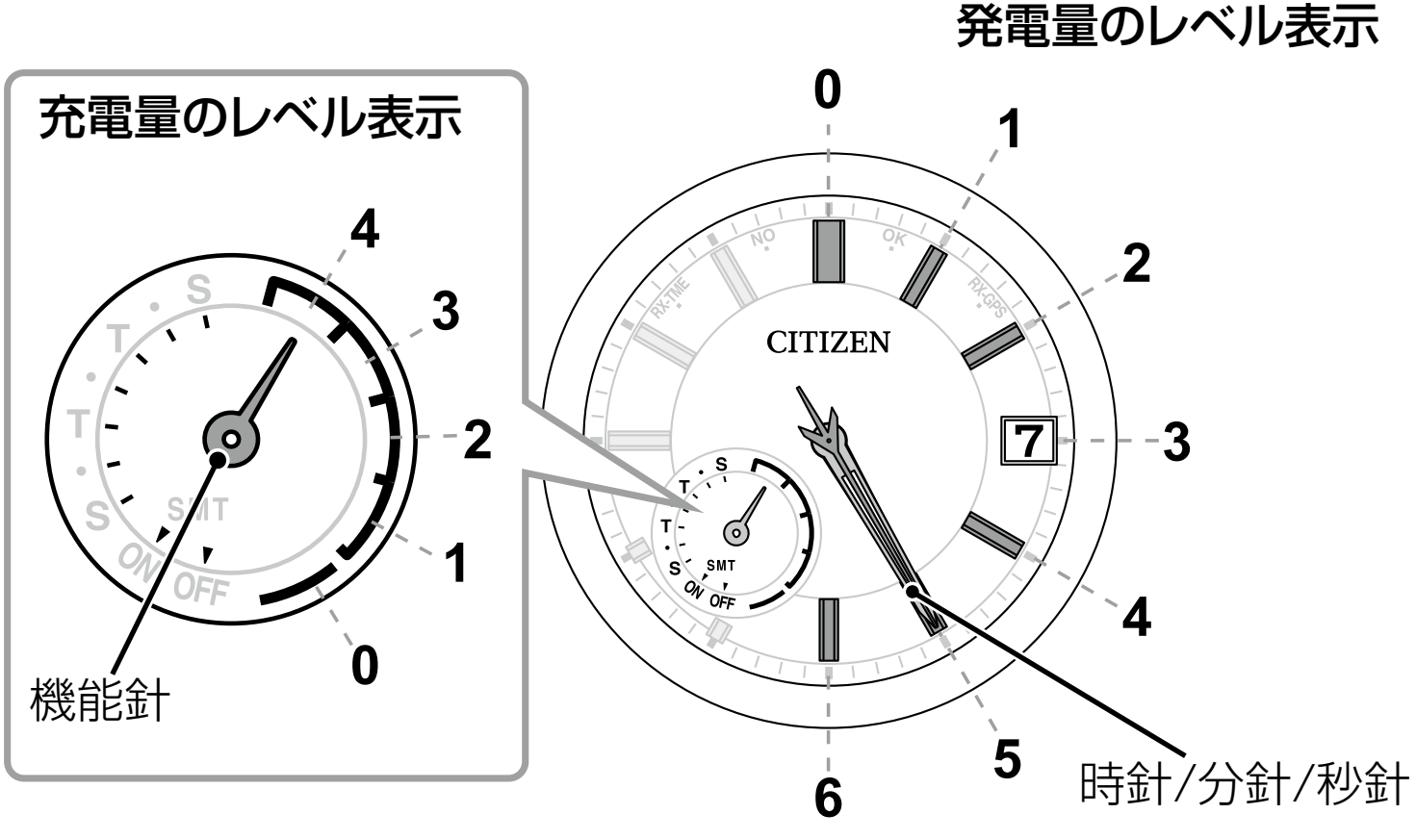
## 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまでの期間

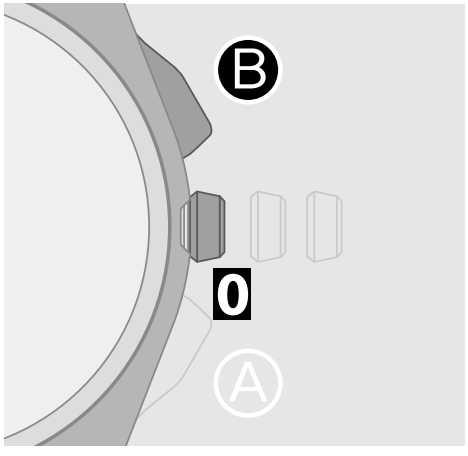
時計を通常に使用した場合で、およそ2年間です。

- 時刻受信を6日に一度の割合で行った場合です。
- パワーセーブ機能によりすべての針が停止したままでも、最大7年間時計は停止しません。

## 現在の充電量と発電量を確認する

時計の現在の充電量と充電環境を把握し、適切に充電するよう心がけましょう。






## *1* りゅうずの位置を 0 にする

## *2* Ⓑ ボタンを押す

ボタンを押した時点の充電量と発電量がレベル表示されます。

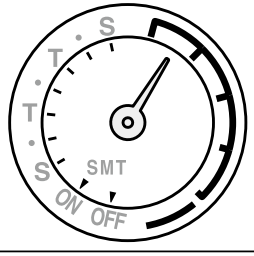
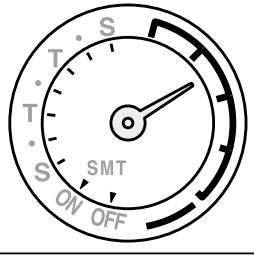
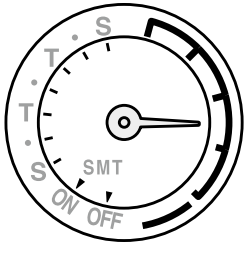
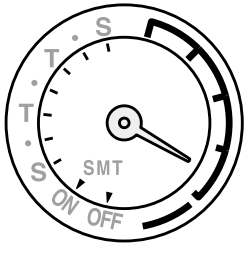
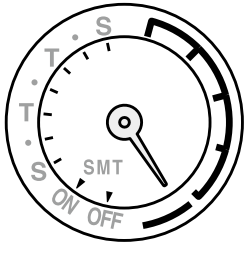
- **充電量レベル**: ***20***ページ
- **発電量レベル**: ***22***ページ

## *3* Ⓑ ボタンを押して、終了する

現在時刻の表示に戻ります。

- ボタンを押さなくても、およそ10秒すると自動で現在時刻の表示に戻ります。

# 充電量のレベル表示

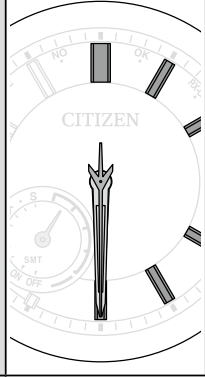
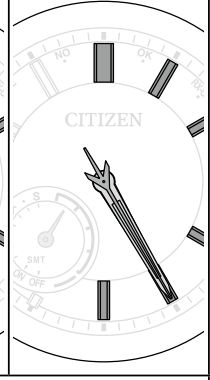
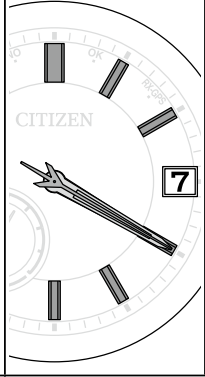
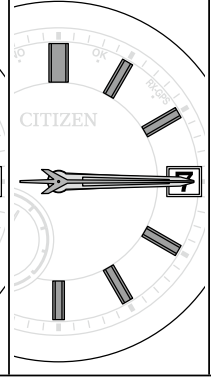
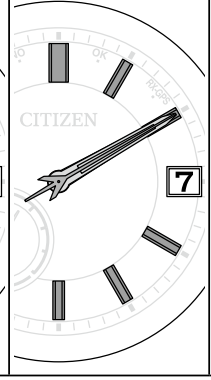
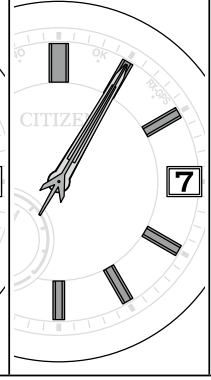
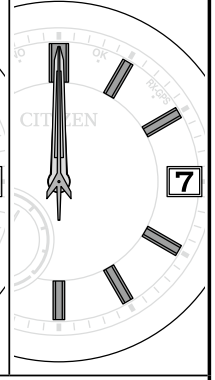
| レベル | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
|---|---|---|---|---|---|
| 充電量表示 |  |  |  |  |  |
| およその持続時間 | 2年～<br>1年7ヵ月 | 1年7ヵ月～<br>1年2ヵ月 | 1年2ヵ月～<br>5ヵ月 | 5ヵ月～5日 | 5日以下 |
| 表示の意味 | 十分充電されています。 | 充電状態は良好です。 | | やや充電量が不足しています。 | 充電警告が始まっています。 |
| | 安心してお使いいただけるレベルです。 | | | **すぐに充電してください。** | |

## 注意

- 充電量レベルが0になると、秒針が2秒ごとに動くようになります(充電警告機能、***14***ページ)。この場合、一部の機能は操作できなくなります。詳しくは、***15***ページをご覧ください。
- 時計の温度が高すぎる、または低すぎるときは、機能針が「OFF」を指し、充電量のレベル表示が行われない場合があります。
  (非充電状態)
  適度な温度の場所で、もう一度確認してください。

## 発電量のレベル表示

発電量のレベルとは、ソーラーセルの発電量を0～6の7段階で示したものです。

| レベル | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発電量表示 |  |  |  |  |  |  |  |
| 表示の意味 | 発電量は、充電に適しています。 | 発電量レベルが「5」または「6」になるような、より明るい場所で充電してください。 | | | | | |

## 注意

- 発電量レベルは、レベル表示のために時計を操作した時点のものです。レベル表示の途中で明るさが変化しても、表示には反映されません。
- 同じ明るさでも、時計の文字板に当たる光の角度の違いなどにより、表示レベルが異なる場合があります。また、モデルによって表示レベルが異なる場合もあります。
- 発電量の表示レベル「6」は、屋外曇天(明るさ約10,000ルクス)より明るい環境で充電したときの発電量に相当します。
- 発電量の表示レベルは、目安としてご利用ください。

# ワールドタイムを設定する

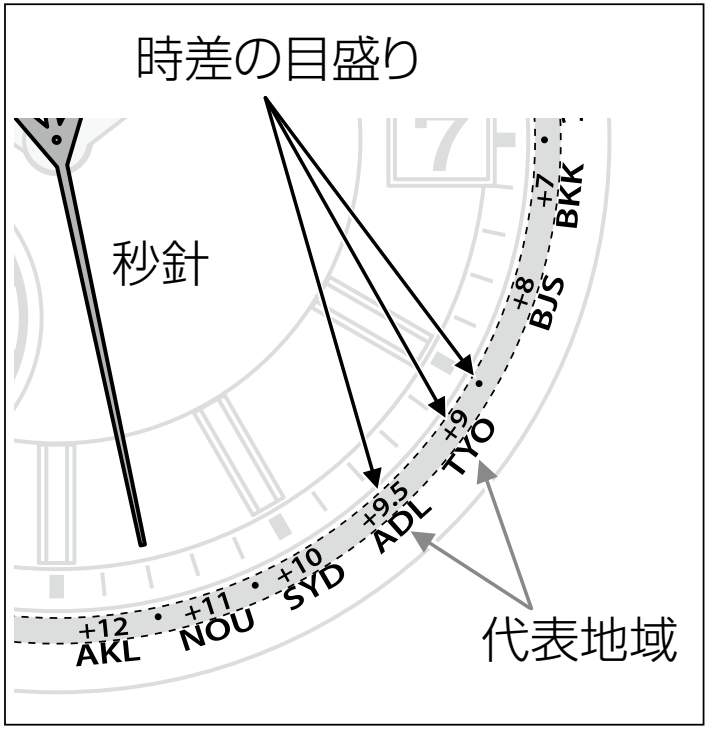
この時計は、UTC(協定世界時)基準の40の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。
ワールドタイムの設定には、以下の2つの方法があります。

| 方法 | 設定内容 |
|---|---|
| 衛星電波から<br>位置情報を取得する<br>(***31***ページ) | 時差を自動で設定し、時刻/カレンダー合わせを行います。 |
| 手動で時差を設定する<br>(***33***ページ) | 時差を手動で設定します。 |

サマータイム情報は、衛星電波に含まれません。サマータイム実施期間の前後では、サマータイムと標準時刻を手動で切り替えてください。(***44***ページ)

## 時差の表示の見かた

時計上には、時差の目盛りが40あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。




左の図では、秒針が28秒を指していて、時差の設定は「+11.5」になっています。

- 時差は、UTC基準になっています。
- 表記の数や内容は、モデルによって異なる場合があります。

## 時差と代表地域の表

• 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

| 時差 | 秒針 | 表記 | 代表地域 |
|---|---|---|---|
| **0** | 0秒 | **LON** | ロンドン |
| **+1** | 2秒 | **PAR** | パリ |
| **+2** | 4秒 | **ATH** | アテネ |
| **+3** | 6秒 | **RUH** | リヤド |
| **+3.5** | 7秒 | **—** | テヘラン |
| **+4** | 8秒 | **DXB** | ドバイ |
| **+4.5** | 9秒 | **—** | カブール |
| **+5** | 10秒 | **KHI** | カラチ |
| **+5.5** | 12秒 | **DEL** | デリー |
| **+5.75** | 13秒 | **—** | カトマンズ |

| 時差 | 秒針 | 表記 | 代表地域 |
|---|---|---|---|
| **+6** | 14秒 | **DAC** | ダッカ |
| **+6.5** | 15秒 | **—** | ヤンゴン |
| **+7** | 16秒 | **BKK** | バンコク |
| **+8** | 18秒 | **BJS(HKG)** | 北京/香港 |
| **+8.75** | 20秒 | **—** | ユークラ |
| **+9** | 21秒 | **TYO** | 東京 |
| **+9.5** | 23秒 | **ADL** | アデレード |
| **+10** | 25秒 | **SYD** | シドニー |
| **+10.5** | 26秒 | **—** | ロード･ハウ島 |
| **+11** | 27秒 | **NOU** | ヌーメア |
| **+11.5** | 28秒 | **—** | ノーフォーク島 |
| **+12** | 29秒 | **AKL** | オークランド |

| 時差 | 秒針 | 表記 | 代表地域 |
|---|---|---|---|
| **+12.75** | 31秒 | **—** | チャタム諸島 |
| **+13** | 32秒 | **TBU** | ヌクアロファ |
| **+14** | 34秒 | **—** | キリスィマスィ島 |
| **–12** | 36秒 | **—** | ベーカー島 |
| **–11** | 38秒 | **MDY** | ミッドウェイ諸島 |
| **–10** | 40秒 | **HNL** | ホノルル |
| **–9.5** | 41秒 | **—** | マルケサス諸島 |
| **–9** | 42秒 | **ANC** | アンカレジ |
| **–8** | 44秒 | **LAX** | ロサンゼルス |
| **–7** | 46秒 | **DEN** | デンバー |
| **–6** | 48秒 | **CHI** | シカゴ |
| **–5** | 50秒 | **NYC** | ニューヨーク |

| 時差 | 秒針 | 表記 | 代表地域 |
|---|---|---|---|
| **–4.5** | 51秒 | **—** | カラカス |
| **–4** | 52秒 | **SCL** | サンティアゴ |
| **–3.5** | 53秒 | **—** | セント･ジョンズ |
| **–3** | 54秒 | **RIO** | リオデジャネイロ |
| **–2** | 56秒 | **FEN** | フェルナンド･デ･ノローニャ諸島 |
| **–1** | 58秒 | **PDL** | アゾレス諸島 |

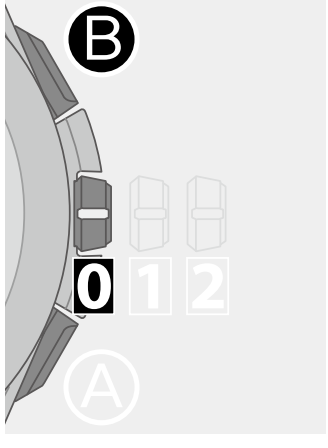
- 表中の時差は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- サマータイム期間中に、サマータイム実施地域の時刻を設定するときは、ワールドタイムの設定をその地域のUTC基準の時差で設定し、サマータイム設定(***44***ページ)をご利用ください。

## 衛星電波から位置情報を取得する

**空が開けた屋外での受信をお勧めします。詳しくは、「衛星電波の受信について」(*46*ページ)をお読みください。**

位置情報を取得することで、自動で時差を設定し、時刻/カレンダー合わせを行います。

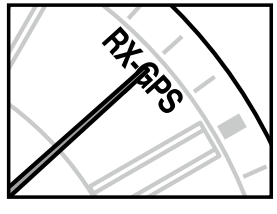
・位置情報の取得には、30秒～2分かかります。




**1 りゅうずの位置を 0 する**

**2 秒針が「RX-GPS」を指す(4秒間程度)まで、Ⓑ ボタンを押し続ける**

現在の時差の設定の表示後、受信が始まります。



受信が終わると、秒針がワールドタイムの設定を指し、秒表示に戻ります。

- 受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

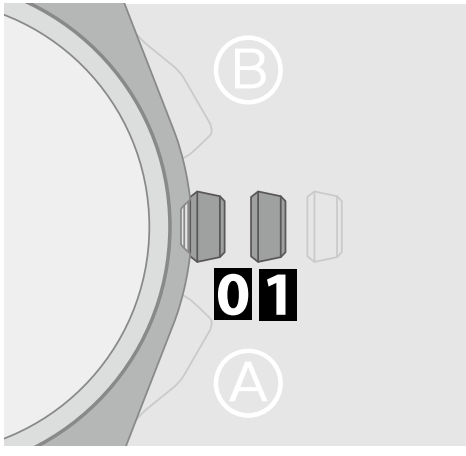
## 位置情報の取得について

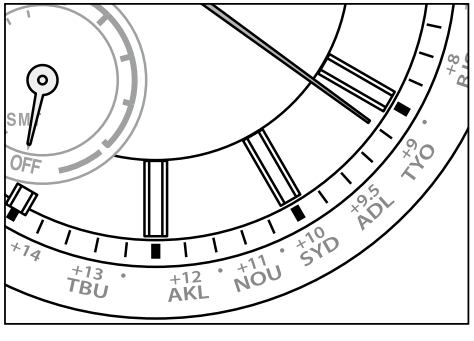
時差の境界地域近くで位置情報を取得したときは、位置情報が正しくても、時差の設定が適切に行われない場合があります。

- 時差の設定は、手動で行うこともできます。(***33***ページ)

* 各地域のタイムゾーンについては、2015年1月時点でのデータに基づいております。

## 手動で時差を設定する




### 1 りゅうずの位置を 1 にする

秒針が現在のワールドタイム設定を指し、機能針がサマータイム設定(***44***ページ)を指します。

### 2 りゅうずを回して、時差を設定する

時刻表示が切り替わります。

- 時差の設定については、「時差の表示の見かた」(***25***ページ)と「時差と代表地域の表」(***26***ページ)をご覧ください。

### 3 りゅうずの位置を 0 にして、終了する

秒針が秒表示に戻ります。

# 時刻情報を受信する

**空が開けた屋外での受信をお勧めします。詳しくは、「衛星電波の受信について」(*46*ページ)をお読みください。**

時刻情報の受信には、以下の3つのタイプがあります。また、前回の受信結果(受信の成否)を確認することができます。(*42*ページ)

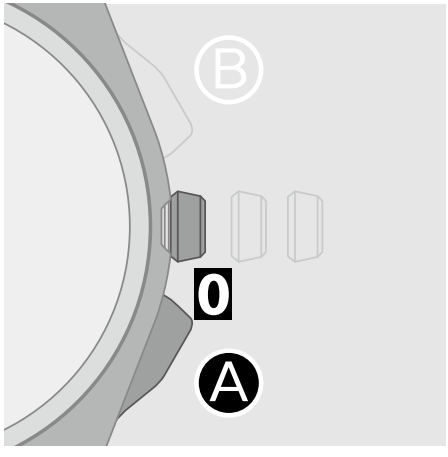
| タイプ | 用途 | およその所要時間 |
|---|---|---|
| **時刻受信**<br>(*36*ページ) | 時刻やカレンダー合わせのための普段の受信 | 3～30秒 |
| **うるう秒受信**<br>(*38*ページ) | うるう秒が更新されたときの受信 | 36秒～13分 |
| **自動時刻受信**<br>(*40*ページ) | 時計が複数の条件を満たしたときに自動で行われる受信 | 3～30秒 |

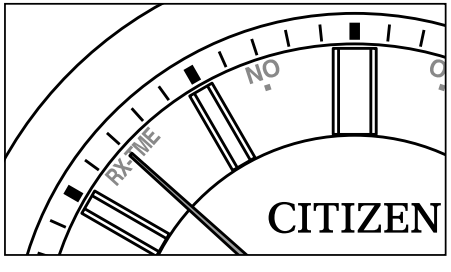
- 時刻情報の受信では、位置情報は取得されません。あらかじめワールドタイム(***24***ページ)の設定を行ってください。

## 時刻受信(所要時間：3～30秒程度)

時刻やカレンダー合わせのための受信です。

- 時刻のずれが大きいときや、カレンダーを手動で合わせたときは、所要時間が長くなることもあります。




### 1 りゅうずの位置を 0 にする

### 2 秒針が「RX-TME」を指す（2秒間程度）まで、Ⓐ ボタンを押し続ける

前回の受信結果の表示後、受信が始まります。

- 受信を中断したいときは、秒針が通常の動きに戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

受信終了後、受信結果(***42***ページ)が2秒間表示され、秒針は通常の動きに戻ります。

## 受信しても時刻やカレンダーが合わないときは

ワールドタイムの設定(***24***ページ)やサマータイムの設定(***44***ページ)を確認してください。

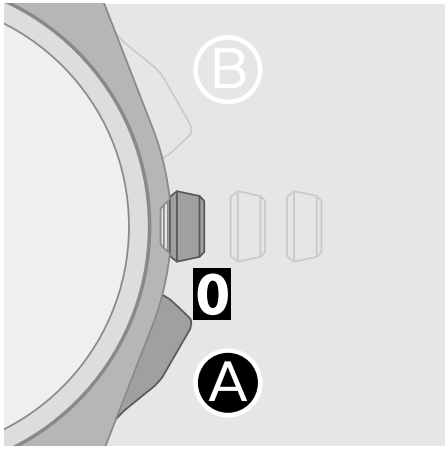
それでも、時刻が合わないときは、うるう秒受信(***38***ページ)を行ってください。うるう秒が更新されている場合があります。

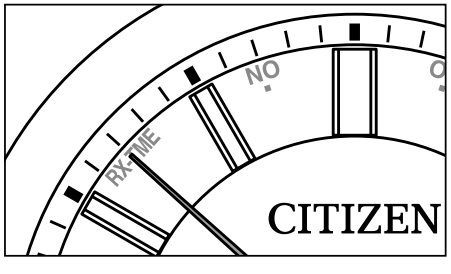
- サマータイム情報は、衛星電波に含まれません。

## うるう秒受信(所要時間: 36秒～13分程度)

うるう秒が更新されたときに行う受信です。

・うるう秒の設定は、手動で行うこともできます。(***52***ページ)




### *1* りゅうずの位置を 0 にする

### *2* Ⓐ ボタンを7秒間押し続ける

秒針が一度「RX-TME」を指してから、一回転し再び「RX-TME」を指したら、受信が始まります。

・受信を中断したいときは、秒針が通常の動きに戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

受信終了後、受信結果(**42**ページ)が2秒間表示され、秒針は通常の動きに戻ります。

## 受信しても時刻やカレンダーが合わないときは

ワールドタイムの設定(**24**ページ)やサマータイムの設定(**44**ページ)を確認してください。

- サマータイム情報は、衛星電波に含まれません。

## 自動時刻受信

以下の条件が整うと、この時計は自動で時刻受信を始めます。

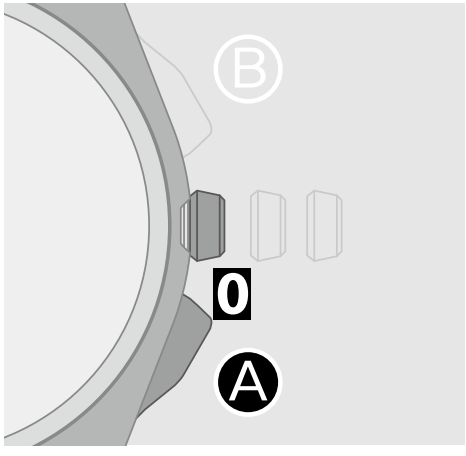
- 6日間以上衛星電波を受信していない
- 強い直射日光が20秒間以上当たっている
- 時計の時刻が午前6時から午後6時の間
- 秒針が2秒運針(***14***ページ)していない

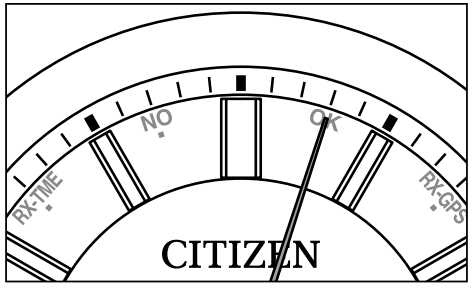
## 自動時刻受信について

次のような場合、自動時刻受信が遅れることがあります。

- 途中で、秒針が2秒運針(充電警告)している
  時計が充電されることによって、充電警告が解消された時点から6日間以上経過すると、自動時刻受信が行われます。
- 時差の設定を変更する
  変更した時点から6日間以上経過すると、自動時刻受信が行われます。

# 前回の衛星電波の受信結果を確認する

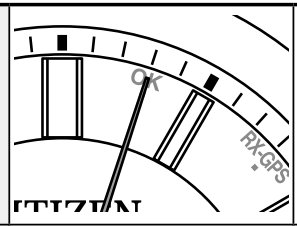
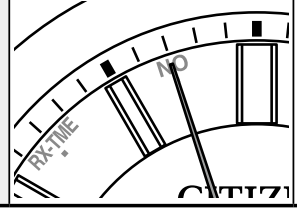



## 1 りゅうずの位置を 0 にする

## 2 Ⓐ ボタンを押す

前回の受信結果が表示されます。

| | | |
|---|---|---|
| **OK** |  | 受信に成功しました。 |
| **NO** |  | 受信に失敗しました。 |





- 受信結果では、位置情報の取得/時刻情報の取得の区別をしません。

### 3 Ⓐボタンを押して、終了する

現在時刻の表示に戻ります。

・ボタンを押さなくても、およそ10秒すると自動で現在時刻の表示に戻ります。

## 受信結果について

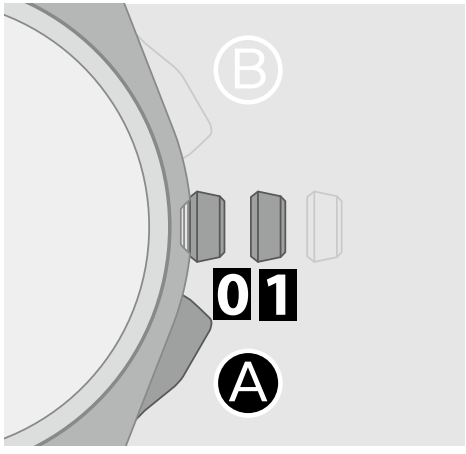
前回の受信結果は6日間記憶され、その後は「NO」と表示されます。

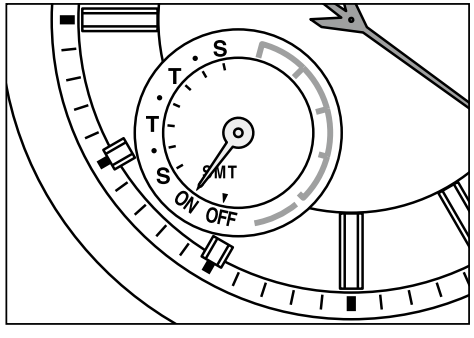
# サマータイムと標準時刻を切り替える

サマータイムとは、夏期の時刻を標準時刻よりも進め、日中の時間を有効活用するための制度で、欧米を中心に導入されています。

この時計は、ワールドタイムの設定地域ごとにサマータイム/標準時刻の表示を切り替えることができます。

- サマータイム情報は、衛星電波に含まれません。サマータイム実施期間の前後では、サマータイムと標準時刻を手動で切り替えてください。
- サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

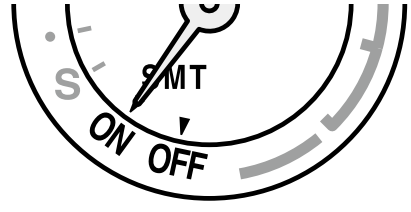
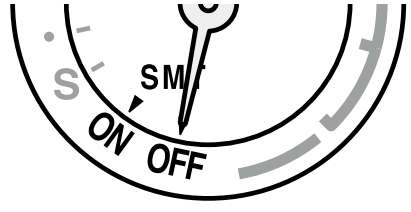



## 1 りゅうずの位置を 1 にする

秒針が現在のワールドタイム設定を指し、機能針がサマータイム設定を指します。

## 2 Ⓐ ボタンを押す

| | |
|---|---|
|  |  |
| サマータイムが表示されます。 | 標準時刻が表示されます。 |





- ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り替わります。

## 3 りゅうずの位置を 0 にして、終了する

秒針が秒表示に戻ります。

# 衛星電波の受信について

この時計は、衛星から送信される時刻情報を受信し、時刻やカレンダーを表示することができます。

また、位置情報を取得し、使用する地域に合わせた時刻を表示させることができます。

## 快適に衛星電波受信を行うために

衛星電波の受信には、多くの電力を必要とします。充電量に配慮して、衛星電波を受信してください。

- この時計は、衛星電波を受信していないときでも、平均月差±5秒の精度で動き続けます。
- 前回の受信結果(受信の成否)を表示する機能(***42***ページ)を上手に利用し、適度な電波受信を心がけてください。

## 衛星電波受信時の注意

**自動車など、乗り物の運転中の受信操作は大変危険ですので、おやめください。**

- 秒針が2秒ごとに動いているとき(充電警告中)は、衛星電波を受信できません。受信の前に十分に充電を行ってください。
- 衛星電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなズレが生じることがあります。

## 衛星電波の受信について

- 本製品の電波受信による時刻自動修正は、2100年2月28日まで対応しています。
- サマータイム情報は、衛星電波に含まれません。サマータイム実施期間の前後では、サマータイムと標準時刻を手動で切り替えてください。(***44***ページ)

## 衛星電波を受信するときは

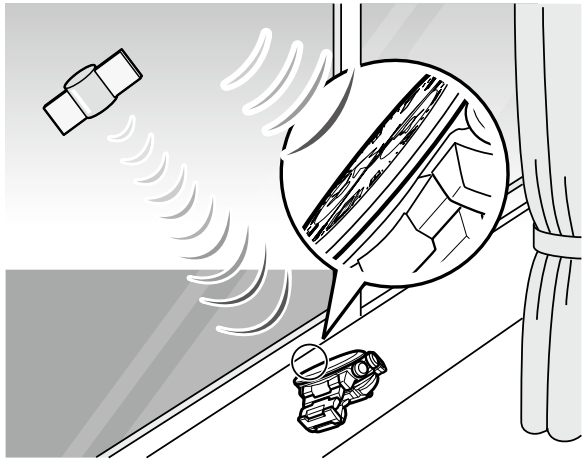
建物や木々など衛星電波を遮るものが少ない屋外で、文字板を空に向けて受信操作を行ってください。

- 図のように、空が大きく開けている環境での受信が理想的です。
- 受信時の衛星の配置によっては、受信できない場合もあります。

## 屋内窓際で受信をする場合

広く空が見える窓際で、空の方向斜め上方に時計の文字板を向けて受信を行ってください。

- 位置情報の取得には複数の衛星からの電波受信が必要です。そのため、時刻情報が取得できる環境でも、位置情報が取得できない場合があります。
  位置情報の取得の際には、屋外での受信をお勧めします。
- 特殊なガラスの場合、衛星電波を受信できないことがあります。



## 受信が困難な場所

次のような場所や環境では、衛星電波を受信できないことがあります。

| 時計の上方に障害物がある場所 | 磁気やノイズを発生する機器の近く |
|---|---|
| • 屋内や地下<br>• 高層ビルや木々などの近く<br>• 曇天･雨天･雷雨のとき<br>など | • 高圧線(電線)、鉄道の線路･架線、飛行場、通信施設の近く<br>• 電化製品やOA機器の近く<br>• 通話･通信中の携帯電話の近く<br>• 携帯電話基地局の近く<br>など |

# うるう秒の設定を確認･修正する

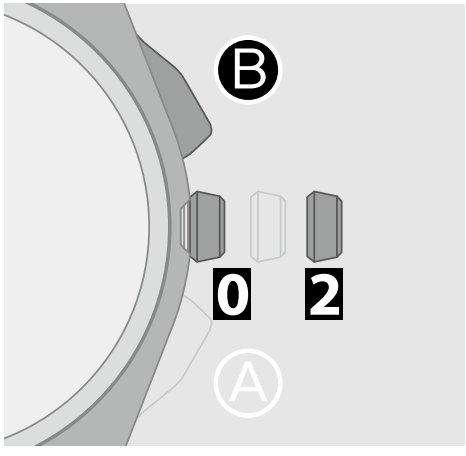
この時計は、衛星から受信した国際原子時に準じた時刻情報にうるう秒との差を設定することで、時刻を表示しています。

うるう秒は数年に一度挿入される場合があり、その都度、時計のうるう秒の設定を修正する必要があります。

- うるう秒の設定の修正は、うるう秒受信(***38***ページ)で自動で行うことができます。また、手動で設定することもできます。

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構･日本標準時グループのサイトでご覧いただけます。

**http://jjy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html**

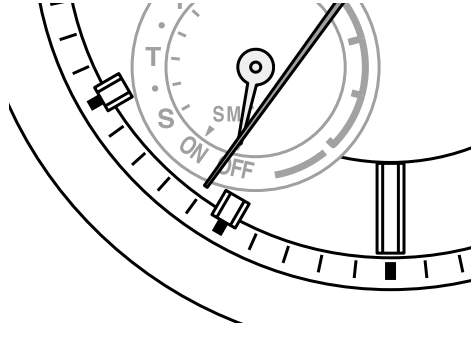
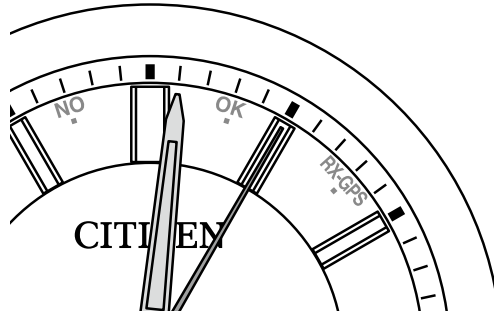


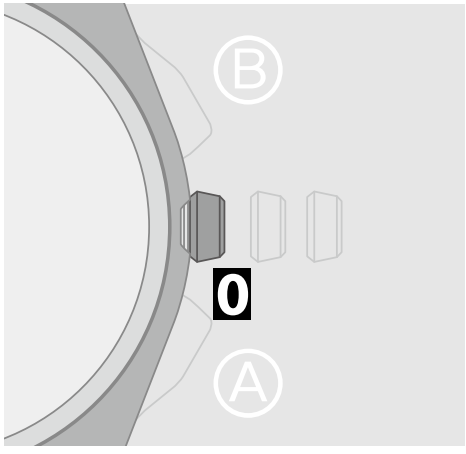

## 1 りゅうずの位置を 2 にする

秒針が0秒を指します。

## 2 Ⓑ ボタンを2秒間以上押す

秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

| うるう秒の設定が「−36秒」のとき | うるう秒の設定が「−65秒」のとき |
|---|---|
|  |  |
| 「0分36秒」を指します。 | 「1分5秒」を指します。 |




**3** **うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する**

・修正できる範囲は、0秒から−90秒です。

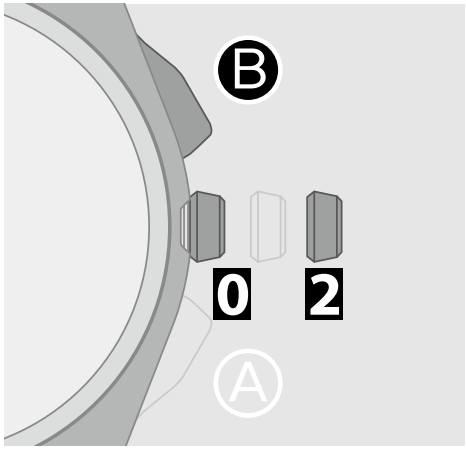
**4** **りゅうずの位置を 0 にして、終了する**

# ロールオーバー数の設定を確認･修正する

この時計には、衛星から送信される週の情報*を正しく処理するために、期間ごとにロールオーバー数が設定されていて、自動で更新されます。

ロールオーバー数の設定が正しくないと、時刻やカレンダーが正しく表示されない場合があります。ロールオーバー数の設定を確認し、正しくない場合は修正が必要です。

* 「週番号」といいます。週を0～1023までの番号(約20年)で表します。

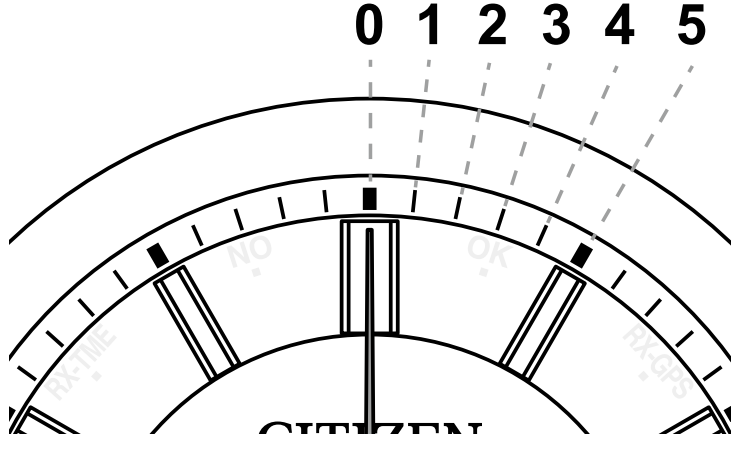


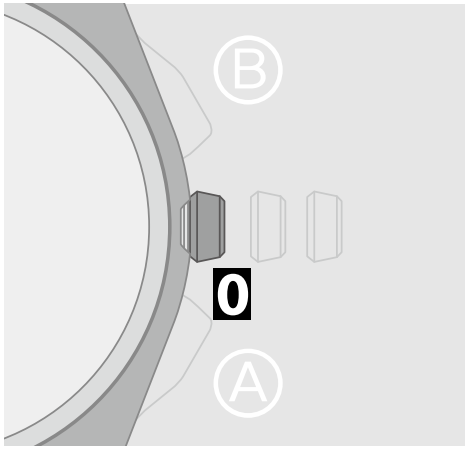

### 1 りゅうずの位置を 2 にする
秒針が0秒を指します。

### 2 Ⓑ ボタンを2秒間以上押す
秒針と分針が、うるう秒の設定を表示します。

### 3 Ⓑ ボタンを7秒間以上押し続ける
秒針が現在のロールオーバー数の設定を指します。

**ロールオーバー数**






## *4* ロールオーバー数の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する

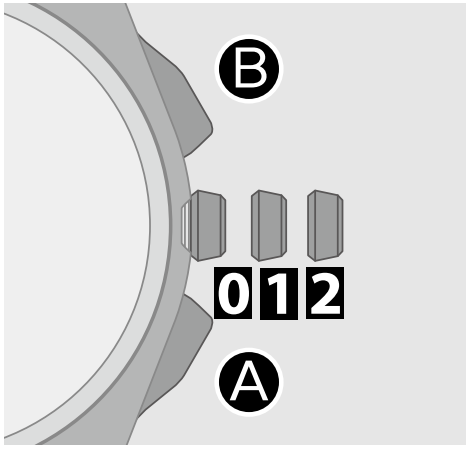
- 修正できる範囲は、「0」から「5」です。
- 下表を参考に、正しいロールオーバー数に設定します。

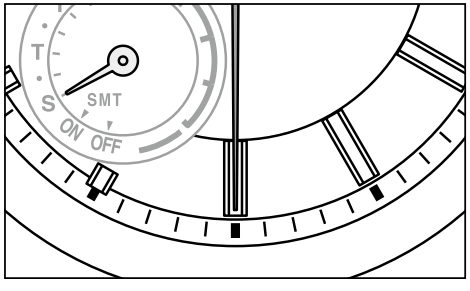
## *5* りゅうずの位置を 0 にして、終了する

| 期間(協定世界時、GMT) | ロールオーバー数 |
|---|---|
| 1999年8月22日(日)0:00 ～ | **0** |
| 2019年4月7日(日)0:00 ～ | **1** |
| 2038年11月21日(日)0:00～ | **2** |
| 2058年7月7日(日)0:00～ | **3** |
| 2078年2月20日(日)0:00～ | **4** |
| 2097年10月6日(日)0:00～ 2117年5月22日(土)23:59 | **5** |

# 時刻・カレンダーを手動で合わせる

・あらかじめ、ワールドタイム(*24*ページ)の設定を行ってください。




**1** **りゅうずの位置を 1 にする**

**2** **秒針が30秒を指すまで、Ⓑ ボタンを押し続ける**

**3** **りゅうずの位置を 2 にする**

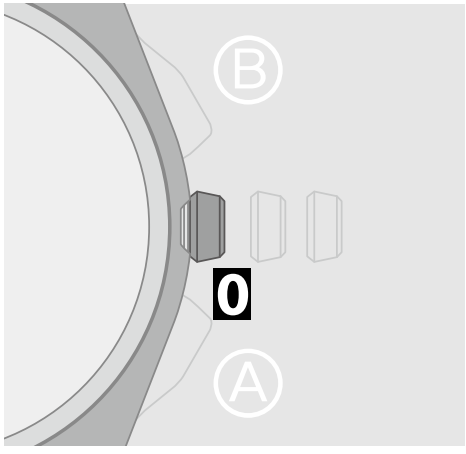
秒針が0秒を指します。

**4** **Ⓐ ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ**

・ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。

**分針→時針→日→年/月→曜→(始めに戻る)**

・針/表示は、少し動いて合わせる対象になったことをお知らせします。




## 5 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

- 年と月は、秒針で表示されます。次ページを参考に設定します。
- 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

## 6 手順4と5をくり返す

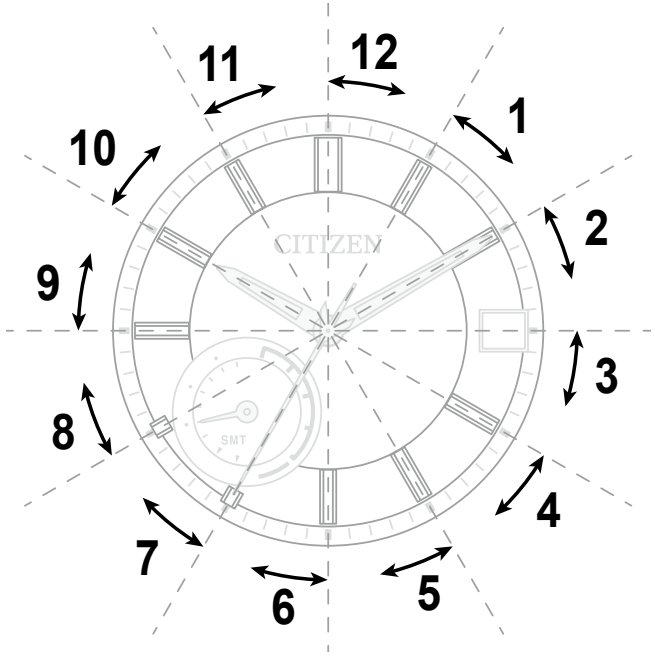
## 7 時報に合わせ、りゅうずの位置を 0 にして、終了する

秒針が0秒から動き出します。

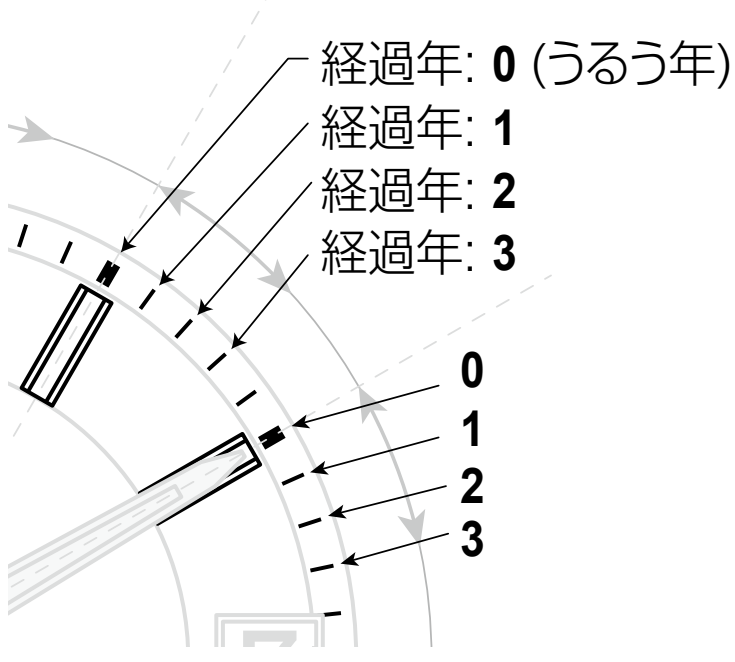
## 年と月の表示について

年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。
各数字が月に対応します。

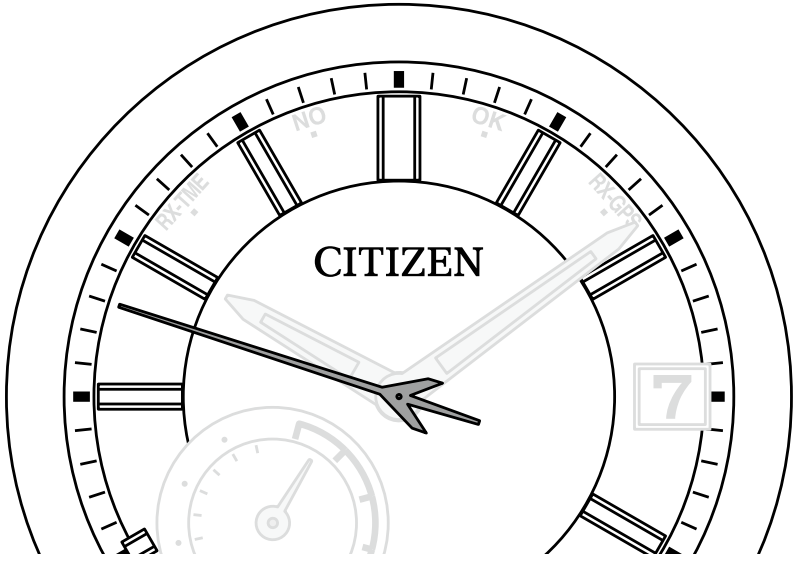



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



| 年 | 経過年 | 秒針の位置 |
|---|---|---|
| — 2016 2020 2024 | **0** (うるう年) | 月の表示範囲の最初の目盛り |
| — 2017 2021 2025 | **1** | 1目盛り目 |
| — 2018 2022 2026 | **2** | 2目盛り目 |
| 2015 2019 2023 2027 | **3** | 3目盛り目 |

## 例: 2015年9月を設定するときの秒針の位置




2015年は、表より経過年が「3」なので、秒針は、9月の範囲の3目盛り目を指すことがわかります。

- うるう年については、弊社ホームページで年表がご覧いただけます。
  http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html

# 基準位置を確認･修正する

電波を適切に受信しても時刻･カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

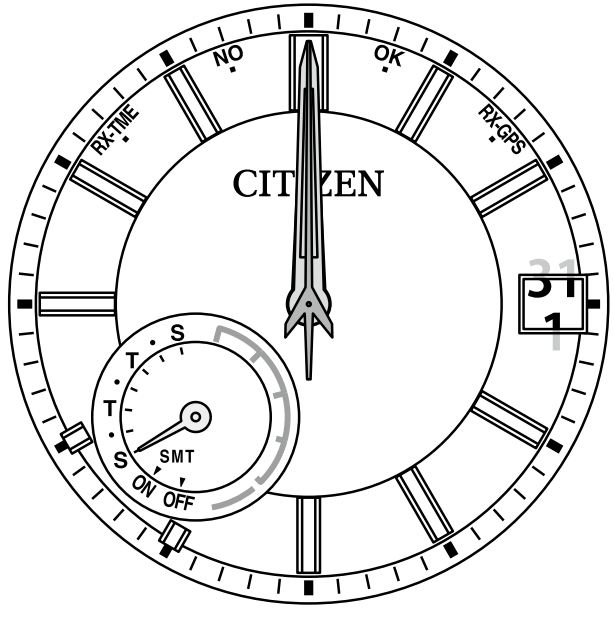
- 各表示が正しい基準位置からずれていると、衛星電波を受信しても、時刻･カレンダーが正しく表示されません。

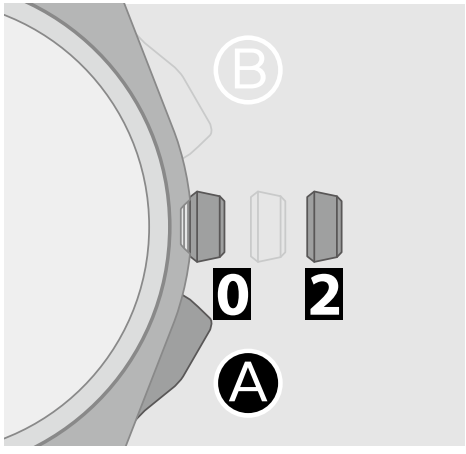
## 基準位置とは

時刻･カレンダーを表示するために基準としている、各表示の位置のことです。

- 時針の位置: 0時
- 分針の位置: 0分
- 秒針の位置: 0秒
- 日の位置: 31と1の間
- 曜の位置: 日曜日

正しい基準位置






## 1 りゅうずの位置を 2 にする

## 2 Ⓐ ボタンを4秒間押し続ける

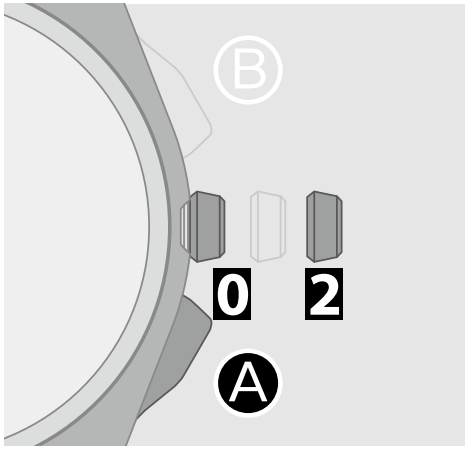
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。

- 針が動き出したらボタンを離します。
- 針位置補正のために、針が特殊な動きをします。

## 3 基準位置を確認する

前ページの図を参考にします。

| | |
|---|---|
| 正しい | りゅうずの位置を 0 にし、Ⓐ ボタンを押して終了します。 |
| ずれている | 次ページの手順4に進み、基準位置を修正します。 |




### 4 Ⓐボタンを押す

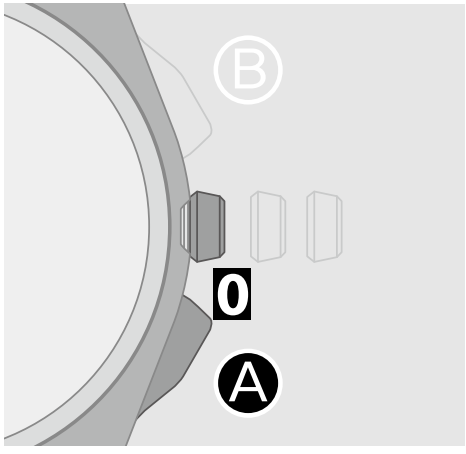
機能針が少し動きます。

### 5 Ⓐボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
  **日/曜→時針→分針→秒針→(始めに戻る)**
- 針は、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。

### 6 りゅうずを回して、針/表示を修正する

- りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。




**7** 手順5と6をくり返す

**8** りゅうずの位置を 0 にする

**9** Ⓐ ボタンを押して、終了する

- 約2分間何も操作をしないと、時刻表示に戻ります。

# 困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

| 時計の状態 | 対処方法 | 詳細ページ |
|---|---|---|
| 衛星電波がうまく受信できない | | |
| 受信が成功しない | 2秒運針中は受信できません。先に、充電を行う必要があります。 | ***15*** |
| | 衛星電波が遮られる場所や、ノイズが発生するものを避けて、時計の文字板を空に向けて受信します。 | ***51*** |
| | 時計を腕から外して受信します。 | **–** |
| | 携帯電話基地局・通信施設などの影響で受信しにくい場合があります。基地局・通信施設から離れた場所に移動してください。 | ***51*** |

| 時計の状態 | 対処方法 | 詳細ページ |
|---|---|---|
| 衛星電波がうまく受信できない(つづき) | | |
| 受信が成功しない | 左記でも解決しない場合は、弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。 | ***93*** |
| 受信はできるが正しい時刻・カレンダーが表示されない | ワールドタイムの設定を確認します。 | ***24*** |
| | サマータイムの設定を確認します。 | ***44*** |
| | 時刻受信を行っても、時刻・カレンダーが正しくない場合は、うるう秒受信を行います。 | ***38*** |
| | うるう秒とロールオーバー数の設定を確認・修正します。 | ***52、55*** |
| | 基準位置を確認・修正します。 | ***62*** |

| 時計の状態 | 対処方法 | 詳細ページ |
|---|---|---|
| **針の動きがおかしい** | | |
| 充電量が表示されない | 充電が行われていない可能性があります(非充電状態)。適度な温度の場所で、もう一度確認します。 | ***21*** |
| 秒針が2秒ごとに動く | 充電します。 | ***12*** |
| 秒針が動かない | りゅうずの位置を **0** にします。 | **–** |
| すべての針が動かない | りゅうずの位置を **0** にして、Ⓑ ボタンを押します。 | ***58*** |
| | 秒針が1秒ごとに動くまで、直射日光で充電します。 | ***16*** |
| | 上記でも解決しない場合は、弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。 | ***93*** |

| 時計の状態 | 対処方法 | 詳細ページ |
|---|---|---|
| **時刻やカレンダーがおかしい** | | |
| 時刻やカレンダーが正しくない | ワールドタイムの設定を確認します。 | ***24*** |
| | サマータイムの設定を確認します。 | ***44*** |
| | 衛星電波を受信して、時刻・カレンダーを合わせます。 | ***34*** |
| | 基準位置を確認・修正します。 | ***62*** |
| | 手動で時刻・カレンダーを合わせます。 | ***58*** |
| ワールドタイムの設定が正しく、衛星電波受信に成功しているのに、時刻がずれている | サマータイムの設定を確認します。 | ***44*** |
| | うるう秒の設定を確認・修正します。 | ***52、55*** |
| | 基準位置を確認・修正します。 | ***62*** |

| 時計の状態 | 対処方法 | 詳細ページ |
|---|---|---|
| **充電･その他** | | |
| 充電しても、動かない | 周囲の温度が約0℃以下または約40℃以上の場合は、「充電禁止温度検出機能」が働き、充電できません。 | ***13*** |
| | 「過放電検出機能」が働くと、充電できません。時計が停止しているとき、直射日光で1日以上充電しても時計が動かない場合は、二次電池が充電できない状態になっている可能性があります。弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。 | ***14***<br>***92*** |

| 時計の状態 | 対処方法 | 詳細ページ |
|---|---|---|
| 充電･その他(つづき) | | |
| 充電しても、<br>すぐに止まる | 直射日光で2、3日間充電します。停止していた針が2秒運針を始めたら、正しく充電されています。続けて充電を行い、秒針が1秒ごとに動いてからも十分に充電してください。<br>変化がないときは、弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。 | ***93*** |

## オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

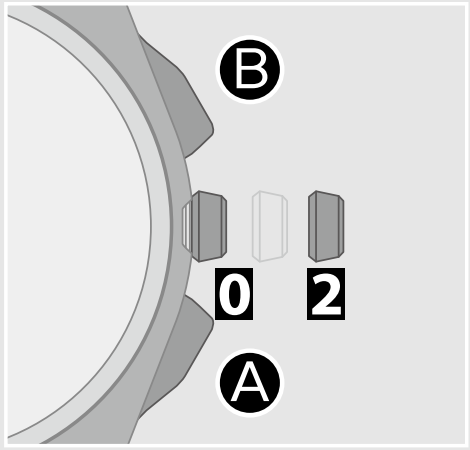
オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

### 1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。***64***ページの手順4以降をご覧ください。

### 2 ワールドタイムを設定する

位置情報を取得する: ***24***ページをご覧ください。
手動で合わせたときは、時刻·カレンダー合わせ
(***34***ページまたは***58***ページ)も行ってください。




## *1* りゅうずの位置を 2 にする

## *2* Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に3秒間以上押して、離す

ボタンから手を離すと、各針が動き、リセットが行われたことをお知らせします。

| オールリセット後の各設定 | |
|---|---|
| カレンダー | うるう年の1月(5秒の位置) |
| ワールドタイム | 時差0(LON)、ロンドン |
| サマータイム | 全ての地域で、OFF |
| うるう秒 | オールリセットしても変更されません。 |
| ロールオーバー数 | |

# その他の情報

## 衛星電波について

- うるう秒について詳しくは、情報通信研究機構･日本標準時プロジェクトのホームページ(http://jjy.nict.go.jp/)をご覧ください。
- 衛星電波時計は、人体や医療機器には一切影響がありません。
- 衛星電波を利用する位置情報の取得では、時計が複数の衛星から衛星軌道情報を受信して、位置を算出します。本書では、このことを「位置情報の取得」と呼称しています。

## 時計に磁気や衝撃が加わっても(パーフェックス)

3つの機能を一体化させることによって、衝撃や磁気などの外部要因による針ずれを防止します。

### JIS1種耐磁性能

日常生活で磁界を発生する機器に5 cmまで近づけても、時計の機能を維持します。

### 衝撃検知機能

時計が衝撃を受けたときに秒針のずれを防ぐ機能です。

### 針補正機能(時針、分針、秒針の基準位置自動補正機能)

一定時間ごとに各針の位置をチェックし、ずれがあったときは自動的に補正し、正しい時刻を保持します。

Perfex
パーフェックス

# エコ･ドライブ取り扱い上の注意

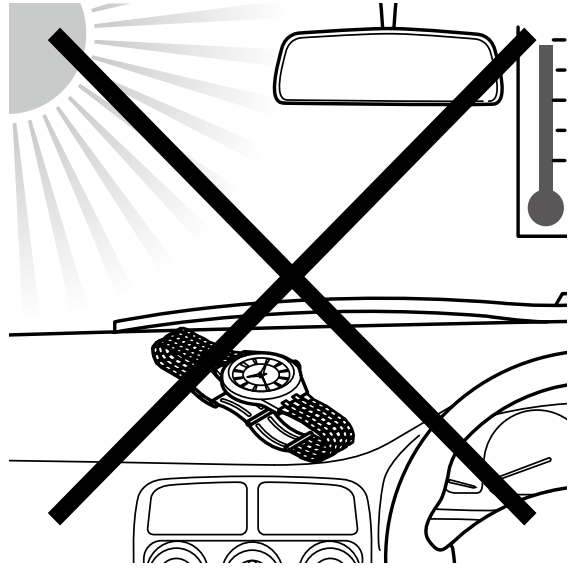
《時計は常に充電を心がけてお使いください》

■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。

■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

## ⚠ 注意　充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60 ℃以上）での充電は避けてください。
例)
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



## 《二次電池の交換について》

・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

## ⚠ 警告　二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

## ⚠ 警告　指定の二次電池以外は使わないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

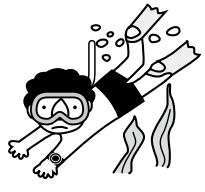
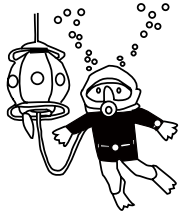
# 防水性能について

## ⚠ 警告　防水性能について

- 時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- WATER RESIST(ANT)×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

| 名称 | 表示<br>文字板または裏ぶた | 仕様 |
|---|---|---|
| 非防水時計 | ― | 非防水 |
| 日常生活用防水時計 | WATER RESIST | 3気圧防水 |
| 日常生活用強化防水時計 | W. R. 5 bar | 5気圧防水 |
| | W. R. 10/20 bar | 10気圧防水、20気圧防水 |

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

| | 使用例 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | |  | |  | |
| | 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など) | 水仕事や一般水泳に使用。 | スキンダイビング、マリンスポーツに使用。 | 空気ボンベ使用のスキューバ潜水に使用。 | ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。 | 濡れたままのりゅうずやボタンの操作。 |
| | × | × | × | × | × | × |
| | ○ | × | × | × | × | × |
| | ○ | ○ | × | × | × | × |
| | ○ | ○ | ○ | × | × | × |

# お取り扱いにあたって

## ⚠ 注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

## ⚠ 注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
  時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

## ⚠ 注意　携帯時の注意

＜バンドについて＞

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。
  また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
  (脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
  弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  -腐食により、バンドに異常が認められたとき
  -バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。
  バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

## <温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

## <磁気について>

- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
  磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

## ＜ショックについて＞

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

## ＜静電気について＞

- クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

## ＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

## ＜保護シールについて＞

- 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## ⚠ 注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
  汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

## 時計のお手入れ方法

- ケース･ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド･プラスチックバンド･ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗･汚れ･水分などを良く拭き取り、高温･低温･多湿の場所を避けて保管してください。

## 夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

# 保証とアフターサービスについて

## ＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

## ＜修理用部品の保有期間について＞

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース･ガラス･文字板･針･りゅうず･プッシュボタン･バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

## ＜修理可能期間について＞

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態･環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

## ＜ご転居･ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

## <定期点検(有償)について>

• 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

• 分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

## <修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

## <その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

# 製品仕様

| | | | |
|---|---|---|---|
| 機種 | F150 | 型式 | アナログソーラーパワーウオッチ |
| 時間精度<br>(非受信時) | 平均月差± 5秒 常温(+5℃～+35℃)携帯時 | | |
| 作動温度<br>範囲 | −10℃～+60℃ | | |
| 表示機能 | • 時刻: 時·分·秒<br>• カレンダー: 日、曜 | • 充電量: 5段階<br>• 発電量: 7段階 | |
| 持続時間 | • 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで<br>通常使用時: 約2年<br>(パワーセーブ時: 約7年)<br>• 充電警告が始まってから時計が停止するまで: 約5日 | | |
| 使用電池 | 二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 付加機能 | • 光発電機能<br>• 過充電防止機能<br>• 充電警告機能(2秒運針)<br>• 過放電検出機能<br>• 充電禁止温度検出機能<br>• 非充電状態表示機能<br>• 充電量表示機能(5段階)<br>• ライトレベル インディケーター<br>(発電量表示機能 7段階)<br>• パワーセーブ機能<br>• 衛星電波受信機能<br>• 位置情報取得機能<br>• 受信中表示機能<br>(RX-TME/RX-GPS)<br>• 受信結果表示機能(OK/NO) | • ワールドタイム機能<br>(27地域を含む40時差)<br>• サマータイム機能<br>(ON/OFF)<br>• パーペチュアルカレンダー<br>(2100年2月28日まで)<br>• Perfex(パーフェックス)<br>JIS1種耐磁性能/<br>衝撃検知機能/<br>針補正機能<br>(時針/分針/秒針) |

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

HAR20

http://citizen.jp/

Cal.F150